

心の姿勢

街中で

大きな硝子窓に映った自分に気づいた。

いつもまっすぐ胸を張って歩いているつもりなのに
なんだか

自信なさげにうつむきかげんに歩く私がそこにいた。

髪型や服装、スタイルばかりが気になっていたけれど
自分の中身は、ぜんぜん気にもしなかった。

——でも、この硝子窓には、私の心が映っているよう。

いろいろなことがある毎日。

悩みがあって、やるべきことがあって、そして避けたいこともある。

しかし、いつまでも避け続けるわけにはいかない。

心はもっと前向きであるべきなのに

知らず知らずに、心の姿勢が悪くなってしまったのだろうか。



いろいろなことがある毎日。
いろいろなことを考え
いやになってしまっている自分。
家族とのこと、学校のこと、友達のこと
そして自分自身のこと。
でも一回しかない人生なのだから
正面からぶつかって
自分で判断していかなければならない。



何か大きな力はないだろうか。

夢と希望、そして勇気が湧いてくるような——

もう一度、硝子窓に映った自分を見る。

そして「心の姿勢」について考える。